

GIFA ふれんどしっぷ

Gifu's Hachiman International Friendship Association

Vol. 19

発行

郡上八幡国際友好協会
事務局郡上市八幡地域振興事務所
総務管理課内

☎0575-67-1122

http://www.gifa.jp

E-mail:office@gifa.jp

郡上八幡国際友好協会と 広報誌「ふれんどしっぷ」

郡上八幡国際友好協会は一九九〇年より、「国際交流の和を広げよう」を目的とし、国家・民族・宗教・文化の違いを越え、世界の人々との交流を通して相互理解と協調を深め、国際協力支援事業を展開すること。また活動を通して地域の人材育成や、国際的な文化の向上と発展に寄与することを目指し活動してきました。発足当初より留学生の受け入れ事業が多かったこともあり二〇〇一年には文科省より大臣表彰を授与されています。

ごあいさつ

会長 鷺見 幸彦

今回皆様のお手元にお届けした「ふれんどしっぷ」は私達の広報誌です。郡上市になったこともあり、この機会により多くの市民の皆様を知っていただくと共に、草の根国際交流のボランティア活動へのご参加やご協力をお願いするものです。

また私達は、同じ郡上市内で国際交流活動を行っている「白鳥町国際交流協会」「美並町国際交流協会」とも手を取り合って活動して行こうと考えています。

最後に七月の岐大サマースクールに際して、高鷺町、白鳥町、大和町、美並町、和良町、八幡町と全市的に広範な方々にホームステイをお引き受けいただきましたこと深く御礼申し上げます。

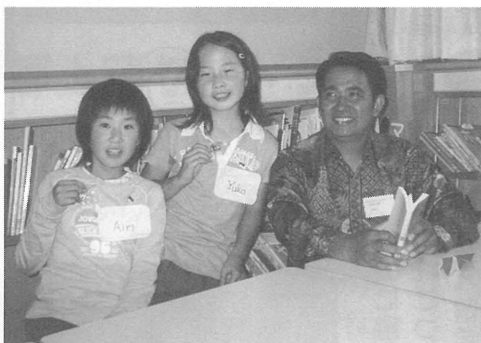
アセアン混成教育代表団を迎えて

六月八日、アセアン八カ国の教師や教育行政担当者からなる二十五名の訪問団が郡上市を訪れた。

午前中は、大和北小学校を訪問。まだ新しい校舎はふんだんに木を使い、しかも備品、設備は充実している。特別教室やランチルームを見学した代表団からは「どの学校もこのような立派な整備がされているのか?」との質問も出た。その後五・六年の児童が拍手で迎える「夢っこ教室」へ、歓迎の挨拶が終わると双方が十二のグループに分かれる。

教室や体育館、屋外などに分かれ交流授業開始。訪問団も教師が多く、言葉は通じなくとも積極的なボディランゲージと笑顔で応対、最初は緊張していた児童もうちとけてくる。児童たちは八カ国の代表団に三世代交流で教わっていた昔遊びを披露する。竹馬、メンコ、おはじき、独楽回し、お手玉、縄跳びとどれも懐かしいものばかり。竹馬では子供たちがお手本を見せた後、竹馬に乗った大人たちを懸命に支え指導する。どちらもとても楽しそうだった。

おはじきなどでは、東南アジアにも同じような遊びがあるようで、児童達が圧倒され驚いていた。どの会場も笑いが絶えずとても打ち解けた和気藹々の雰囲気だった。最後は音楽室に集合して、児童の美しい合唱と、代表団の民族舞踊や歌の交換で締めくくられた。



午後からは、八幡町に移って日本の伝統文化の紹介を中心とした研修を行った。

遊童館での水野先生の折り紙教室ではとても熱心で、童心に返ったかのように楽しそうだったのが印象的だった。サンプル工房では、海老天などの食品サンプルに挑戦した。郡上八幡ならではの良いいお土産になったと思います。

最後に旧庁舎記念館で「郡上踊り」を受講。大いに盛り上がり、

ありがとう 8つの国の人

大和北小5年 鷺見 彩乃 さん

今日は、8つの国の人が大和北小学校にきていっしょに、交流会をしました。

私は8つの国の人達のふくそうは、とってもきれいで8つの国の1つ1つの風景がつつたわってくるようなふくを着ていました。とてもいいなあと思いました。

私達の班は昔の遊びのけん玉をしました。けん玉は私はあまりやったことがなくて今日はひさびさにやりました。カンボジアの男の人とはとてもけん玉がじょうずだったので私はびっくりしました。カンボジアの人との交流会はとても楽しかったです。

最後には、カンボジアのおみやげをくれました。おみやげはカンボジアの石でほった写真でした。とても楽しかったです。またいつかきてくれたらいいなあと思いました。

終了後の講師と太鼓を囲んでの記念撮影は、いつまでも延々と続き集合写真を撮った時には二十台以上のカメラが前に並べられたのであった。

リ一体験

くださったホストファミリーの皆さんに
うございました!

今回初めて留学生の受け入れに参加しました。スウェーデンから来たアクセルには家族の一員として、この町の住人のように自然に過ごしてもらいたいという思いがありました。ここでの日常を体験してもらおうと、朝の公園を散歩してスウェーデンには生息しない虫を見たり、一緒に日本の家庭料理を作ったり、祖父の甚平で郡上おどりに参加したり、食事の度にお互いの生活習慣についてたくさん話したりという時間の過ごし方をしました。

また、彼は歴史や日本文学が好きで、

八幡町 吉田 和華子さん

八幡城や神社の歴史、フィールドミュージアムには大変興味を持っていました。今回歴史に詳しい友人に説明をお願いしていたので、彼と一緒に私たちも八幡の歴史について知り、地元なのに初めて聞くことも多く、驚きと反省の繰り返しでした。

会話ではスウェーデンと日本の比較をよくしましたが、スウェーデンには個人の主義を快く認める環境がありとても羨ましくなりました。例えば菜食主義でさえも、協調性を重視する日本人同士の習慣の中では、貫き通すことはできないと思います。この違いは、文化の違いもありますが、多国籍や他の

宗教に触れ合って生活してきた環境やそれについての教育の違いによるものです。留学生たちの大らかな人柄を見て、“意識的に豊かな国”の世界第二位にスウェーデンが選ばれる理由が伝わってきました。

短い期間でしたが、留学生との出会いの他、彼らを通じてホストファミリー同士新たな出会いがあったりと想像以上に得るものは大きく、ホストファミリーを体験してみてもよかった一言です。此の出会いや経験を忘れず今後もよい方向へつないでいけたらと思います。

岐阜大学サマースクール

今年も、岐阜大学に短期留学している
留学生たちが郡上八幡にやってきました。

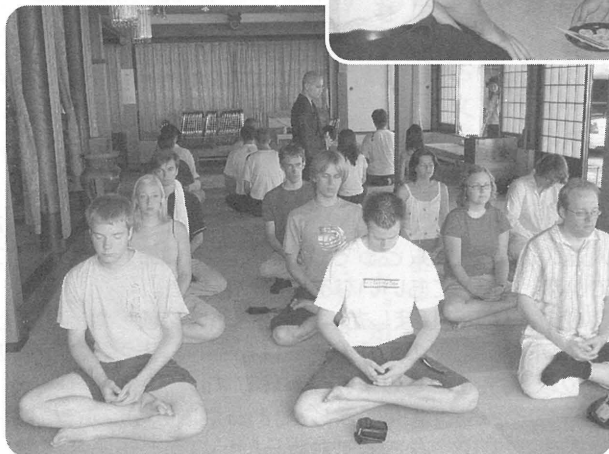
平成16年7月16日(金)～19日(月)

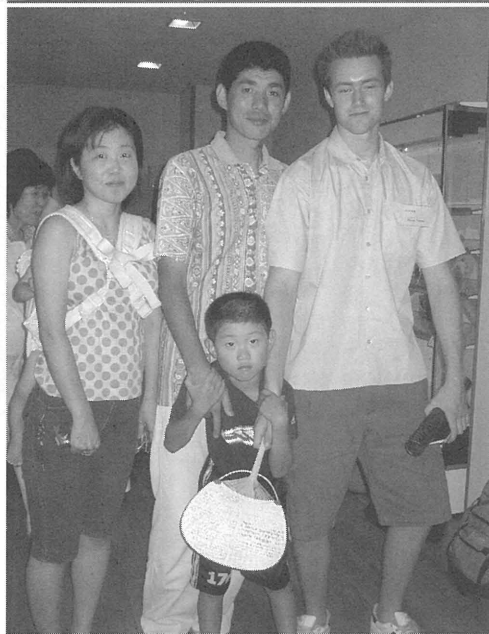
参加学生:ルンド大学(スウェーデン) 18名

ソウル産業大学(韓国) 5名

計 23名

- 第1日目 7月16日(金) 茶道体験講座(講師:裏千家なごみ会)
紙細工体験講座(講師:水野先生)
郡上おどり体験教室
(講師:蚕業振興公社職員)
歓迎交流会
- 第2日目 7月17日(土) 座禅体験講座(講師:稲村先生)
書道体験講座(講師:下広先生)
午後フリータイム
- 第3日目 7月18日(日) 終日フリータイム
- 第4日目 7月19日(月) 反省会





ホストファミリー

3泊4日の貴重な体験、ホームステイを提供してアンケートに答えていただきました。ご協力ありがとうございました。

八幡町 田中伸次さん

食べる物、フリータイムの過ごし方等、事前にいろいろと心配しましたが、今は体験させていただいて本当によかったと思っています。

普通の日本の家庭を見てもらい、経験してもらおうと、気をはらずに過ごしました。特に食事は何でも「おいしい」と言ってくれましたし、家族で食卓を囲むこともとても新鮮で喜んでくれました。礼儀正しく、日本をよく知りたいという気持ちがすごく伝わってきて、そういう生き方に感銘を受けました。

六才の子が、今でも名前を出すほど、トーマスのことが大好きです。数日でしたが、とてもよい交流ができたのだと思います。

お世話になりました。



匿名さん

暑中御見舞い申し上げます。初めてホームステイをさせていただき、子供も色々体験させてもらいうれしく思っております。

学生さんの前向きな姿勢が我家に刺激をあたえていただきました。来年もやれたらいいねと家族で話しています。ありがとうございました。

ドイツ青年代表団

つき餅をほおばり郡上踊りにトライ

平成16年3月13日(土)

10時30分、ドイツの一行20人が岐阜県世界青年友の会(GWY)ホストファミリーの20人程と共に到着、GIFAからは鷺見会長以下4名が城下町プラザで出迎えました。

町内散策しながら遊童館へ。水野先生の紙切りの指導に感嘆の声を上げ、先生も熱が入り時間オーバーしようかというのを切り上げた程。

旧庁舎記念館に移っては、裏の駐車場で庄村夫婦の指導で木うすによる餅つきを体験。昼食を兼ねて白もち、たかきびもちを海苔やきな粉、あずきつぶあんで試食。ドイツ青年たちだけでなく、GWYの会員の皆さんたちも物珍しく喜んで試食しておりました。

市内散策後は、旧庁舎記念館で坪井理事の指導による郡上踊り講習を行いました。

穏やかで天気にも恵まれたこの一日、3時過ぎプラザ駐車場で見送るまで、優しく、楽しく、郡上八幡の旅を体験することができたのではと思います。

* 会員募集中 *

郡上八幡国際友好協会では会員を募集しています。

年会費は個人3,000円、団体10,000円です。年会費は、留学生の受入や学習会、料理を楽しむ会などの事業や広報活動の費用として大切に使われます。

国際交流事業の企画に関心があり、一緒に実現してくれる方も募集しています。

お問い合わせ

郡上八幡国際友好協会事務局
TEL 67-1122 (内線318)

平成16年度 GIFA総会 平成16年5月14日

青年海外協力隊・ドミニカ派遣の大坪さん講演

総会と共に行なわれた第1回学習会においては、青年海外協力隊として、ドミニカ共和国で福祉業務に当たった大和町の大坪隆成さん(32)が体験を語った。

市内の病院でソーシャルワーカーを務める大坪さんは、同協力隊に興味を持ち、2002(平成14)年4月に出発。ドミニカのサント・ドミンゴの国際児童相談所で働き、今年3月帰国した。

この日、大坪さんはドミニカの人口や言葉などのクイズを交えながら講演。「現地では貧しくて学校に通えない子どもの支援を行ったが、日本では想像できないような現実を目の当たりにした。今では、いい経験となり友人もいっぱいできた」と話した。その上で、「活動を通し、現地で日本人が信用されているのを実感した。諸先輩のつくった国際的信用だし、壊さないことが必要」などと語った。



〈友好協会関連事業〉

やさしい英会話教室

郡上市八幡町の八幡英会話サークルが、六月十八日から同町の市総合文化センターで初級英会話教室(全五回)を開催、同教室は市内の四人のALTを講師に迎え、市内各地の社会人および学生約四十名が参加した。

参加者 清水敬子

今回、初めて参加させていただきました。英語が話せるようになりたいと思いつつも、三日坊主に終わってしまう。そんな私が、英会話教室へ行って楽しめるだろうか。そんな不安を胸に、第一回を受けました。しかし、そんな後ろ向きな私の気持ちはいつしか先生方の楽しい授業で消えてしまいました。特に印象に残っている授業は、道案内の授業と、グループに分かれて先生が英語で言ったものを絵に描き、グループの人に当ててもらおうゲームです。

道案内は、先生がただ口で説明するのではなく、実際に演じ、実際の八幡の観光地図を使ってわかりやすく教えていただきました。また、ゲームでは英語と絵を使って各グループごとに奮闘しました。紙のなかの英語を追っていた私にとって、今回の教室は、英語に対する私の苦手意識や文法重視の勉強法を変える良ききっかけになりました。もっと心で聴き、楽しみ、話す。知識も大切ですが、伝えたいという気持ちから、会話が始まっていくのだと心から思いました。

国際理解学習会(八幡西中学校)

他国の文化に触れる

中国、タイ、スエーデン、シンガポール

7月2日(金)日本語文化研修生として岐阜大学で学ぶ中国、タイ、スエーデン、シンガポールの留学生六人が昨年に引き続き八幡町西中学校を訪れ、生徒たちと国際理解学習会を開催しました。中学生に国際理解について身近に暮らす住外国人から学んでもらおうと岐阜大学の協力で実現したものです。

西中学校のすばらしい歓迎大合唱のあと六班に分かれて留学生の母国や文化の紹介を行い、日本の昔ながらの遊びや、八幡名物(?)を楽しみました。留学生は西



中学校生のそれぞれの家庭でホームステイをして、楽しい思い出が出来たと話していました。